

エネルギー・環境政策における 政府審議会のバランスを欠いた人選と非民主的なプロセスに問題提起します ～新しいエネルギー政策は民主的な政策形成プロセスを経て決定を～

eシフト（脱原発・新しいエネルギー政策を実現する会）

2011年3月11日に発生した未曾有の福島第一原子力発電所事故の原因は、それまでの日本のエネルギー政策が、原発利権に偏った利害関係者のみによって、きわめて不透明なプロセスで作られてきたことにあります。この事故により、政府・原子力関係事業者・学識経験者に対する人々の信頼は大きく崩れ、それを検証できなかったマスコミの責任も問われています。多くの人が全ての人の暮らしやいのちに関わる重要な問題であるエネルギー・環境政策に対して、無関心であってはならないことを学んだのです。

過去の悲惨な原発事故の教訓と経験から、市民にとって安心・安全で、持続可能な社会を構築するためには、旧来のトップダウン型政策プロセスをかえていくことが不可欠です。しかし、現在政府がすすめている以下のような対応は、従来のやり方に後戻りするばかりか、福島原発の事故の教訓を踏みにじるものであり、国民にとって到底納得できるものではありません。

1. 「原発ゼロ」を求めた国民的議論の結果を無視

エネルギー・環境政策の方針として、昨夏の国民的議論で「原発ゼロ」を求める国民の声が圧倒的多数を占めたことを無視し、原発の再稼働に向けてその結論を出すことを急ぎ、「革新的エネルギー・環境戦略」もゼロベースで見直す方針を示しました。昨年の『国民的議論』で脱原発を選択した人が多かったという事実は重く受け止めて議論の前提とするべきです。

2. 原発推進に偏った審議会メンバー

総合資源エネルギー調査会総合部会

経済産業省はエネルギー基本計画の改定に向けて設置された基本問題委員会を廃止し、かつて原発推進政策を決定づけてきた「総合部会」を復活させ、その委員を発表しました。しかしメンバーからは、「基本問題委員会」で「原発ゼロ」の立場であった8人のうち6人が外されました。メンバー構成は原発推進に大きく偏っており公正な議論が行なわれるとは到底思えません。しかも、委員長は新日鉄住金相談役の三村明夫氏で、基本問題委員会の委員長として不適任であった人物です。このように、脱原発・再生可能エネルギー推進を強く訴えるような人を多く外し、偏った原発利害関係者ばかりで審議会を構成することは、幅広い意見を聞くことを最初から放棄したものであり、公正な議論が保証されているとは思えません。

中央環境審議会

環境省はエネルギー政策と表裏一体で議論している中央環境審議会のメンバーから、昨年末に就任が内定していた枝廣淳子氏や植田和弘氏、浅岡美恵氏などエネルギー・環境政策に精通するメンバーを今年になって取り消しました。それ以前に外されている環境NGOのメンバーもあります。本来は、気候変動政策の観点からエネルギー政策を検討する上で国際的な情勢をふまえて政策提言するNGOや有識者のメンバーこそ増強すべきであると思います。今回の新メンバー構成は、時代に逆行しエネルギー・環境分野から幅広い意見を聞くことを最初から放棄した人選であると思います。

3. 政策決定に際し、市民参加プロセスをきちんと位置づけるべき

エネルギー基本計画の改定に際し、上記のような偏ったメンバーでの審議会での形式的な人選と議論で決定されることは、旧来型の手法に戻り、民主党政権よりも大きく後退したと言わざるを得ません。国民が納得できる、情報公開と透明性が確保された市民参加型のプロセスがとられるべきです。次に私たちの提案を示しますので、ぜひ政策に反映していただきたいと思います。

eシフト（脱原発・新しいエネルギー政策を実現する会）
〒171-0014 東京都豊島区池袋 3-30-8
みらい館大明 1F 国際環境 NGO FoE Japan 気付
tel: 03-6907-7217 fax: 03-6907-7219

eシフト参加団体 （2013年3月現在）

国際環境 NGO FoE Japan、環境エネルギー政策研究所（ISEP）、原子力資料情報室(CNIC)、福島老朽原発を考える会（フクロウの会）、大地を守る会、NPO 法人日本針路研究所、日本環境法律家連盟（JELF）、「環境・持続社会」研究センター（JACSES）、インドネシア民主化支援ネットワーク、環境市民、特定非営利活動法人 APLA、原発廃炉で未来をひらこう会、気候ネットワーク、高木仁三郎市民科学基金、原水爆禁止日本国民会議（原水禁）、水源開発問題全国連絡会（水源連）、グリーン・アクション、自然エネルギー推進市民フォーラム、市民科学研究室、グリーンピース・ジャパン、ノーニュークス・アジアフォーラム・ジャパン、フリーター全般労働組合、ピープルズプラン研究所、ふえみん婦人民主クラブ、No Nukes More Hearts、A SEED JAPAN、ナマケモノ倶楽部、ピースボート、WWF ジャパン（公益財団法人 世界自然保護基金ジャパン）、GAIA みみをすます書店、東京・生活者ネットワーク、エコロ・ジャパン・インターナショナル、メコン・ウォッチ、R 水素ネットワーク、東京平和映画祭、環境文明 21、地球環境と大気汚染を考える全国市民会議（CASA）、ワーカーズコープ エコテック、日本ソーラーエネルギー教育協会、THE ATOMIC CAFÉ、持続可能な地域交通を考える会（SLTc）、環境まちづくり NPO エコメッセ、福島原発事故緊急会議、川崎フューチャー・ネットワーク、地球の子ども新聞、東アジア環境情報発信所、Shut 泊、足元から地球温暖化を考える市民ネットえどがわ、足元から地球温暖化を考える市民ネットたてばやし、東日本大震災被災者支援・千葉西部ネットワーク、アジア太平洋資料センター（PARC）NNAA(No Nukes Asia Actions) Japan、さよなら原発・神奈川、プルトニウムフリーコミュニケーション神奈川、エコフェアネットワーク